

ただわが霊によって

シリーズ～預言者の声～

2022/11/13

神殿再建

- **ペルシアの王キュロスの勅令 (BC538年)**
 - バビロンを倒したペルシアの王キュロスは、それまでの政策を転換し、捕囚民たちを祖国に帰らせ、それぞれの神々にペルシアの繁栄を祈らせた
- **最初の帰還民**
 - 約3万人が神殿再建のためエルサレムに戻った
- **敵の妨害による中断**
 - 地元民たちはイスラエルの再興を恐れ、ペルシアの王に警告の手紙を送った(十数年の中断)
- **預言者ハガイによる叱責 (BC520年)**
 - 神殿を蔑ろにして自分たちは立派な家を建てている。だから何をやっても上手くいかないのだ！

神殿建築再開

- **ハガイを通しての主からの励まし**
 - 「今こそ、ゼルバベルよ、勇気を出せと／主は言われる。大祭司ヨツアダクの子ヨシュアよ、勇気を出せ。国の民は皆、勇気を出せ、と主は言われる。」ハガイ書2:4(ダレイオスの第二年7月21日)
- **もう一人の預言者、ゼカリヤ**
 - 「ダレイオスの第二年8月に、イドの孫でベレクヤの子である預言者ゼカリヤに主の言葉が臨んだ。」ゼカリヤ書1:1
 - 先祖たちは預言者たちの声を聞かなかった

ゼカリヤの幻

- 3ヶ月後に与えられた預言は8つの幻だった
 - 「ダレイオスの第二年11月…24日に、…預言者ゼカリヤに主の言葉が臨んだ。」1:7
- 第一の幻(1:7~17)
 - 地上を巡回した馬に乗った四人の人
 - 地上は安らかである・エルサレムは再建される
- 第二の幻(2:1~4)
 - 四本の角と四人の鉄工
 - イスラエルを滅ぼした国々とそれらを倒した国々
- 第三の幻(2:5~17)
 - 測り縄を手にした人(エルサレムの回復)

ゼカリヤの幻

• 第四の幻(3:1~10)

- 大祭司ヨシュアの汚れた着物を脱がせ、「清いかぶり物をかぶせ、晴れ着」を着せられる
- イスラエルの罪が取り除かれる

• 第五の幻(4:1~14)

- 金の燭台と二本のオリーブの木
- 二人の油注がれた人(ゼルバベル・ヨシュア)

• 第六の幻(5:1~4)

- 空飛ぶ巻物(律法)によって罪人が罰せられる

• 第七の幻(5:5~11)

- エファ升の中の女(不正が一掃される)

• 第八の幻(6:1~8)

- 四両の戦車(地上を巡回する)

第五の幻 4章1～14節

わたしに語りかけた御使いが戻って来て、わたしを起こした。わたしは眠りから揺り起こされた者のようであった。彼はわたしに、「何を見ていたのか」と尋ねたので、わたしは答えた。「わたしが見ていたのは、すべてが金でできた燭台で、頭部には容器が置かれていました。その上に七つのともし火皿が付けられており、頭部に置かれているともし火皿には七つの管が付いていました。その傍らに二本のオリーブの木があり、一つは容器の右に、一つは左に立っていました。」わたしは言葉をついで、わたしに語りかけた御使いに言った。「主よ、これは何でしょうか。」

…彼は答えて、わたしに言った。「これがゼルバベルに向けられた主の言葉である。武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって、と万軍の主は言われる。大いなる山よ、お前は何者か／ゼルバベルの前では平らにされる。彼が親石を取り出せば／見事、見事と叫びがあがる。」…わたしは言葉をついで御使いに尋ねた。「燭台の右と左にある、これら二本のオリーブの木は何ですか。」わたしは重ねて彼に尋ねた。「その二本のオリーブの木の枝先は何ですか。それは二本の金の管によって、そこから油を注ぎ出しています。」…彼は、「これは全地の主の御前に立つ、二人の油注がれた人たちである」と言った。



エルサレムのその後

- 律法の精神を守れ (7, 8章)

- 形だけの断食は必要ない、正義と真理、いたわりと憐れみの心を大切にせよ

- 子ロバに乗って王が来られる (9, 10章)

- 「娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歡呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者／高ぶることなく、ろばに乗って来る／雌ろばの子であるろばに乗って」9:9

- 悪い羊飼いが現れる (11章)

- 「主はわたしに言われた。「それを鋳物師に投げ与えよ。わたしが彼らによって値をつけられた見事な金額を。」わたしはその銀三十シェケルを取って、主の神殿で鋳物師に投げ与えた」11:13

エルサレムのその後

- エルサレムを巡る最後の戦い(12章)
 - 「その日、エルサレムにはメギド平野におけるハダド・リモンの嘆きのように大きな嘆きが起こる。」12:11
- エルサレムが清められる(13章)
 - 「この三分の一をわたしは火に入れ／銀を精錬するように精錬し／金を試すように試す。彼がわが名を呼べば、わたしは彼に答え／「彼こそわたしの民」と言い／彼は、「主こそわたしの神」と答えるであろう。」13:9
- 全人類がエルサレムで主を礼拝する(14章)
 - 「エルサレムを攻めたあらゆる国から／残りの者が皆、年ごとに上って来て／万軍の主なる王を礼拝し、仮庵祭を祝う。」14:16

小さな預言書の壮大な話

• 帰還民による神殿再建

- 総督ゼルバベルと大祭司ヨシュアが用いられる
- ハガイとゼカリヤによる預言

神殿が必要

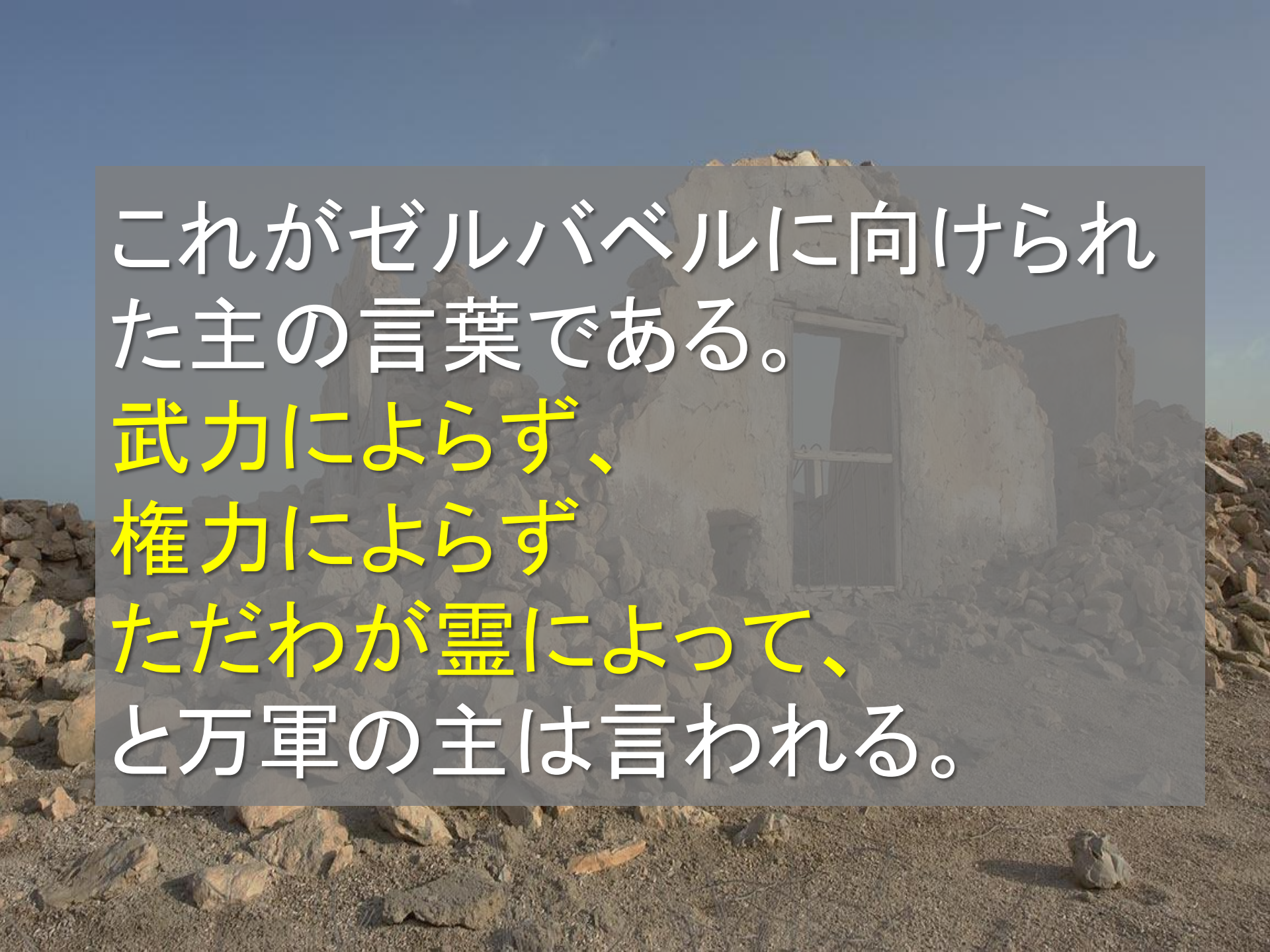
• 主なる神が世界を治められる

- 王(メシヤ)がエルサレムに入られる
- 悪い羊飼いにによって良い牧者が解雇される
- 最後の戦いの後、エルサレムに主が立たれ、世界を支配される

神殿崩壊

- 「主は地上をすべて治める王となられる。その日には、主は唯一の主となられ／その御名は唯一の御名となる。」14:9

結末が分かっているにもかかわらず、主は全力で御業を行われる！



これがゼルバベルに向けられた
主の言葉である。

武力によらず、
権力によらず
ただわが霊によって、
と万軍の主は言われる。